

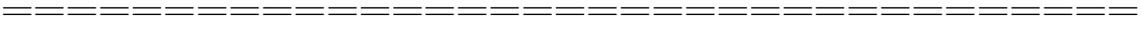


電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)
ニューズレター (2018 年度 No.2)
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆FIT2018 (第 17 回情報科学フォーラム) 開催のご報告
- ◆HCG シンポジウム 2018 開催のご案内
- ◆2019 年総合大会投稿のご案内
- ◆研究会活動紹介 (HPB 研究会)
- ◆研究会活動紹介 (LARC 研究会)



FIT2018 (第 17 回情報科学技術フォーラム) 開催のご報告

企画幹事
青木良輔 (NTT)

17 回情報科学技術フォーラム FIT2018 が、2018 年 9 月 19 日(水)から 21 日(金)まで、福岡工業大学において開催されました。

FIT (Forum on Information Technology) は、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 及びヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) と情報処理学会 (IPSJ) との合同で開催されるフォーラムで、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流などの実現を目標としています。

一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選び贈呈する FIT 奨励賞の受賞者が 65 名選ばれました。また、FIT2018 船井業績賞を受賞されたイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の Abel Bliss 教授より「テキストビッグデータから知識を体系的に創出する」というタイトルの受賞記念講演があり、貴重なお話を伺うことができました。

会期中のイベント企画は、「ビッグデータ時代の医療と情報」「IT と法、交渉ごと」「LOIS 研究会 10 周年記念シンポジウム」「最適モデリング」「革新的コンピューティング ～技術レイヤー横断の研究開発による新たな基盤技術の創出～」【AI TECH TALK】～ビジネス最前線～ 企業の技術部門が語る人工知能関連テクノロジー」「クラウドソーシング/ヒューマンコンピューテーション ～デジタルプラクティスライブ～」「機械学習と実応用 (PRMU/IBISML 共催 CVIM 連催研究会)」「人間を中心としたパターン認識・メディア理解の技術」「福岡工業大学オープンラボ」が開催され、最新の技術動向やそれに関連するトレンド的な話題が提供されました。



HCG シンポジウム 2018 開催のご案内

企画幹事
吉田悠 (NEC)

毎年 12 月の恒例となりました、電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション

ヨングループ(HCG)が主催する HCG シンポジウム 2018 の開催のご案内です。
会場：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢(三重県伊勢市)
<http://ise-kanbun.jp/>
会期：2018年12月12日(水)-12月14日(金)
事前参加×切：2018年11月13日(火)
副題：加速するヒューマンコミュニケーション

今年度は、121件(口頭発表93件、インタラクティブ発表のみ28件)の発表申込がありました。昨年に引き続き、今年もすべての口頭発表者がインタラクティブ発表でも同一内容を発表できますので、時間を気にすることなく活発な議論を行うことができます。

また、学生の皆様のご発表や萌芽的研究のご発表が多く見られることも本シンポジウムの特徴です。これからの時代の新しい流れを生み出す場となるよう、運営委員一同準備を進めております。ぜひご参加ください。

本シンポジウムでは、一般セッションに加え、特集テーマセッション5件、特別セッション3件、チュートリアル講演1件を予定しております。

【特集テーマセッション(旧称：オーガナイズドセッション)】

「産業IoT/loHと人間・知能機械協奏」

12月12日(水) 13:00-15:00 13日(木) 9:30-11:30

「雰囲気工学」

12月12日(水) 13:00-15:00 13日(木) 12:30-14:30

「ソーシャル・インタラクション」

12月13日(木) 9:30-11:30 12:30-14:30

「ヒューマン情報処理の計測と制御」

12月13日(木) 12:30-14:30

「コミック工学」

12月13日(木) 12:30-14:30 14:50-16:30

【特別セッション(旧称：企画セッション)】

「スマートシェアードスペース(仮)」

12月12日(水) 13:00-15:00

「高精度手話データベース構築と手話研究への展開(仮)」

12月13日(木) 14:50-16:30

「複数体ロボットと人とのコミュニケーション(仮)」

12月13日(木) 14:50-16:30

【チュートリアル講演】

12月12日(水) 15:20-16:20

小杉考司准教授(専修大学)に下記テーマでご講演いただく予定です。

「心理学における新しい統計学との付き合い方(仮称)」

なお、開催時間については現時点での予定であり変更になる可能性があります。

参加費は事前：一般 10,000 円，学生 5,000 円となっております。
事前参加メ切を過ぎますと当日料金になり参加費が変わりますのでご注意ください。
詳細は下記をご覧ください。

<https://sites.google.com/a/hcg-symposium.org/2018/registration>

また，シンポジウムでの活発な研究議論とともに，懇親会・表彰式にもぜひご参加ください。懇親会では，HC 賞の表彰を，クロージングでは，特集テーマセッション，インタラクティブセッションの優秀講演についての表彰も予定しております。

懇親会は 12 月 13 日(木)19:00 から伊勢シティホテルにて開催予定です。

事前参加費：一般 5,000 円，学生 1,000 円

こちらの事前参加メ切も 2018 年 11 月 13 日(火)となっております，それ以降は当日料金となりますのでご注意ください。

その他最新情報につきましては，下記をご覧ください。

<https://www.hcg-ieice.org/hcg-symposium/>

2019 年総合大会投稿のご案内

企画幹事
青木良輔 (NTT)

電子情報通信学会では，例年春と秋に大会を開催しており，春にはヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) を含む 4 ソサイエティ 1 グループが一堂に会して総合大会を開催いたします。2019 年の総合大会は早稲田大学 (東京都) において開催されますのでご案内申し上げます。

会 期：2019 年 3 月 19 日 (火) ~ 22 日 (金)

会 場：早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京都)

講演申込期間：2018 年 11 月 2 日 ~ 2019 年 1 月 9 日 (水) 17:00 (厳守)

最新の情報は下記の URL をご参照ください。

<https://www.ieice-taikai.jp/2019general/jpn/>

皆様のご講演申込み，ご参加を心よりお待ちしております。

研究会活動紹介 (HPB 研究会)

HPB 運営委員長
薄井智貴 (名大)

近年，測位技術やセンサ技術の発達により，人が携帯・装着可能なサイズのセンサが登場し，スマートフォンの普及などとともに「人がセンサを持ち歩く」ことが当たり前の時代になりました。このようなセンサは，ゲーム機やスマートフォンなどの小型デバイスに内蔵され，加速度や角速度などにより保持者の行動情報を収集するものや，心拍・脈拍センサのように身体に装着し生体情報を収集するもの，温度や圧力，照度，臭覚など周辺環境情報を収集するもの，GNSS などの位置情報を収集するものなど，非常に多種多様化しており，もは

やセンサを搭載していない製品は無いと言っても過言ではありません。これらのセンサデバイスを用いて、実世界の事象を情報として広く収集・蓄積し、解析することで、実世界の様々な現象やメカニズムを定量的に把握することが可能となり、世の中の諸問題の解決に役立てることができると考えております。本研究会では、人が持ち歩く情報機器を活用し、環境や自分自身を計測するセンシングを“Human Probe（人間による計測）”と名付け、センサデバイスの開発やデータ収集方法、収集したデータの解析、様々な応用サービス、実社会での活用、地域課題解決などを中心として、分野横断的に議論を進めています。

ヒューマンプローブ（HPB）研究会は、2009年から続く特別研究専門委員会です。今年で10年目になります。2014年には、第3種研究会として活動を続けてきた人と場所のつながりデザイン（HPD）研究会と合流し、さらにその活動領域を広げております。対象とする研究分野は、モバイル通信、センサ解析、GIS、ITS、人間行動学、参加型センシング、インタラクティブデザイン、観光、地域課題解決など、幅広く分野横断的な研究交流を積極的に進めております。

研究会は、毎年度2回（春期開催6月と冬期開催2月）開催しており、2009年7月の東京大学での研究会を皮切りに、これまで全国各地で全19回の研究会を開催してきました。春期開催では、一泊二日の合宿形式により2日間の研究発表会を実施しており、毎回、著名な招待講演者を独自で招き、最先端かつ尖った研究を紹介頂く「招待講演セッション」や、各大学教員による話題提供をネタに深夜まで重厚な議論を行う「ナイトセッション」、他の研究会では議論できないような新しい研究や取り組みの相談、新しい学問の立ち上げなどの「萌芽セッション」をプログラムに取り入れ、研究発表だけでなく、研究者同士の交流を図ることを第一目的として、全国の温泉地で研究会を開催してきました。また冬期開催は、主に首都圏内の大学において1日だけの研究会を実施しており、一般講演発表に加え、学生の卒修論発表がメインの「学生セッション」や、萌芽研究発表を中心とした集中討議にも力を入れた「議論セッション」を中心に実施しており、首都圏内の様々な大学からの研究発表を頂いております。

当研究会は、運営メンバーの自由な発想による特色のある研究会実現を目指し、単なる研究報告会ではなく、研究内容の深い議論を主眼とした場作りと、研究の情報交換や萌芽的研究の相談の場としての役割も担いつつ、今後も活動を続けてゆきたいと考えています。

=====

研究会活動紹介（LARC研究会）

LARC 運営委員長
長嶋祐二（工学院大）

リアルタイムコミュニケーション第3種研究会（LARC）は、手話関係の研究、聴覚障害者支援、言語学的な研究者を中心に学際的に手話を中心としたマルチモーダルコミュニケーションのメカニズム解明のためのコミュニティ形成と意見交換の場を提供することを目的として、2016年7月に発足しました。

手話は言語であるにもかかわらず、音声言語と比べて言語学、工学を含む関連諸分野での研究が進んでいない現状があります。この理由は、手話研究者が少ない、専門領域を超えたまとまったコミュニティが存在しない、研究に興味があっても気軽に利用できる共通の言語データベースが無い、などが考えられます。

LARC では、言語学的な側面、手話の認識や生成などの工学的な側面、聴覚障害者の支援的な側面、コミュニケーション的側面からの研究を対象としています。また、共通なデータを基にした議論の活性化や新たな研究者の参加を促進するため、手話言語データベース/対話コーパスの収集方法の検討と構築も視野に入れていきます。参加メンバーは、言語、工学、支援などを専門とする大学の研究者、企業などの研究機関などです。

研究活動としては、これまで年度の初めに3回の温泉合宿を開催して、認識、記述、データベース構築などとテーマを決め活発な議論を行なってきました。また、これまで6研究機関を訪問・見学し、その機関で行われている研究を中心として活発な議論も行っています。これらの研究会には、若い研究者や学生も参加し、取り組んでいる研究報告も行われています。

さらに、LARC では、手話研究推進のため、言語 DB の構築を行なうため、言語資料提供者、語彙の選定方法、データの収集方法、収録データ形式、DB 公開方法などについて検討を行う、ワーキンググループを組織しています。このWGでは、光学式モーションキャプチャにより3次元動作データ、HDカメラによる映像、Kinect 2による深度データ・赤外線画像を同期して収録する方法論を検討しています。この方法論を基に、2017と18年度は1,341語彙の収録を行いました。今年のHCGシンポジウムには、LARCとしての特別セッションを企画しております。ご興味のある方は是非、参加してご意見などいただければ幸いです。

今後は、研究者のコミュニティを広げると共に、手話をはじめとするマルチモーダルコミュニケーション言語の機能解明へ貢献できればと考えています。

最後に、研究会には手話母語者が参加することもあり、情報保障費も使わせて頂いており、感謝しております。

=====

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事について、詳しくはHCG ホームページ <http://www.hcg-ieice.org/>をご覧ください。

□■□
電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ
Copyright (c) 2018 IEICE, All Rights Reserved.
□■□

☆e-mailによる情報配信を必要としない方は、その旨 henkou@ieice.org まで
会員番号、氏名をご連絡ください。処理に1ヶ月程度かかりますので、入れ
違いに、再度情報配信された場合は、ご容赦ください。
(ご連絡いただいた場合は本会、登録ソサイエティ、グループ、支部、からの
全ての情報配信が止まりますので、情報配信を再度希望される時も、その旨、
henkou@ieice.org までご連絡下さい。)
ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice
(社)電子情報通信学会 サービス事業部
TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659